

株主の皆様へ

第105期中間 (2013年4月1日~2013年9月30日)

Thank you 便り



 山九株式会社

証券コード：9065

<http://www.sankyu.co.jp>

山九グループをより深く理解していただくために 株主の皆様からのよくあるご質問にお答えいたします。

？ 当上半期の業績・経営環境について

当上半期（2013年4月1日から2013年9月30日まで）の世界経済は、全体としては緩やかな回復基調が継続し、国内においては、住宅市場や個人消費など内需に景気回復を示す指標が現れ、経済諸政策の効果が实体经济に徐々に波及してきました。当社グループにおいては、物流事業分野では、国内の素材・原料系のお客様への合理化対応は依然厳しさがあるものの、輸入を中心としたコンテナ取扱や海外での化成品、自動車関連物流などが増加しつつあります。

一方、機工事業分野では、国内における大型設備工事の減少ならびに受注競争の激化による収益性低下に加え、鉄鋼、石油・石化のお客様における生産再編・合理化に伴う整備・修繕案件の競合が、一段と厳しさを増す状況となりました。

このような経営環境の中、当社グループは基盤となる

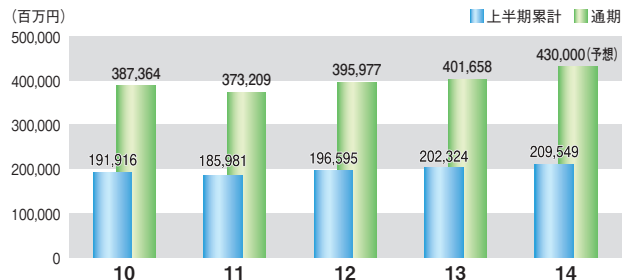
競争力のあるコストを創り出すことを最重要課題とし、次に中長期的視点に立った戦略的受注による売上拡大を進めました。また原価率の低減と間接経費削減を引き続き推進し、収益体質の強化に取り組みました。その結果、当上半期の売上高は2,095億49百万円と前年同期比3.6%の増収となりましたが、利益面では営業利益が63億33百万円、経常利益は62億29百万円と前年同期比それぞれ36.1%、36.7%の減益となりました。尚、純利益は34億49百万円となりました。

代表取締役社長

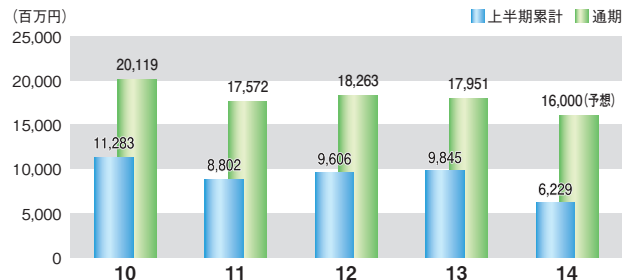
中村 公一



売上高



経常利益



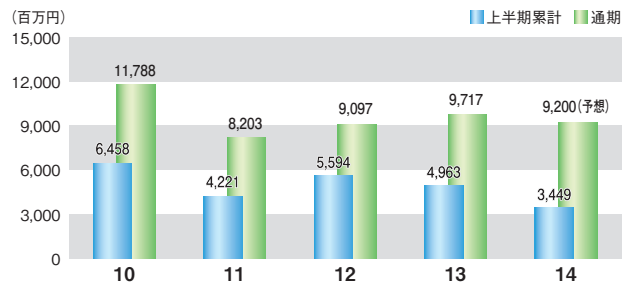
? 事業セグメントの状況について

「物流事業」は、国内では輸入を中心としたコンテナ取扱量が回復したことで倉庫関連作業などが増加、海外では設備輸送や電子部品等の輸出入取扱量が増え、新規連結の効果もあって増収となりました。構内は海外での新規作業の受注や円安の進行により増収となり、物流事業全体では増収増益となりました。

「機工事業」は、国内では大型高炉改修工事やその同調工事など、大型設備工事がなかったことで前年同期を下回る工事量となりました。石油・石化のお客様の保全作業もSDM周期が端境期にあり減少しました。海外では、東南アジアを中心とした保全工事量の増加や円安の進行により増収となり機工事業全体では増収となりましたが、お客様の予算圧縮などにより収益性が低下し減益となりました。

「その他事業」は、大型工事案件がなく機材の賃貸が減少したことなどから、減収減益となりました。

純利益



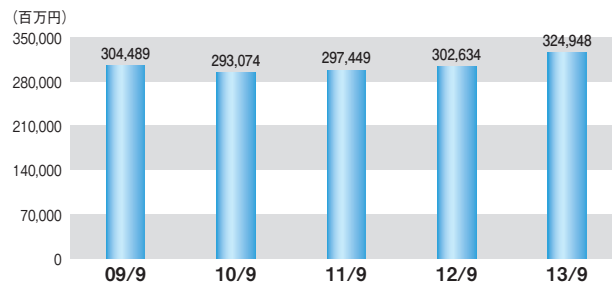
? 通期業績の見通しについて

今後の経営環境として世界経済は総じて緩やかな回復基調を維持、国内経済も回復が遅れていた企業部門の持ち直しの動き等が実体経済に波及してくると思われます。当社グループにおいて、物流事業では低稼働資産の集約や稼働率改善を実施し、更なる相乗効果の発現に取り組んでまいります。

また、機工事業では秋季から冬季に計画するSDMおよび大型設備工事などの効率化や経営資源の流動化を進め、全体工事への効率性の還元を促します。

2014年3月期の連結業績見通しにつきましては、当社グループを取り巻く経営環境を踏まえ、2013年5月に公表した通期の業績予想を修正し、売上高4,300億円、営業利益165億円、経常利益160億円、当期純利益92億円を予想しております。尚、年間配当金につきましては当初の予想通り、1株9円を予定しております。

総資産



6月 7月 8月 9月

海外展開

サウジアラビアに2拠点目の
現地法人を設立
●海外での日常保全業務遂行に向け

当社は、サウジアラビアのアルジュベール工場地帯の日常保全業務遂行を目的に、アラビア湾側に山九ARCCサウジアラビアを設立しました。従業員は270人(内日本人10人)で、2008年に西海岸側に設立した山九マナールサウジアラビアに続く2拠点目となる現地法人となります。



組織

国際物流推進部を
設置
●国際物流分野の強化を目指し

当社は、ロジスティクス・ソリューション事業本部内に「国際物流推進部」を設置しました。日本のTPP協定の参加により今後拡大が見込まれる国際物流分野での営業強化を目的としており、当社の強みであるアジア地域ネットワークを最大限に活用し、日本と海外との連携を更に強化します。

拠点

ブラジルに物流センター開設
●成長するブラジルでの広域輸送体制の整備

ブラジルは個人消費の伸びから日系企業を含め多くの企業が進出しており、企業進出の加速化による物流ニーズの高まりに対応するため、山九ロジスティクスブラジルは、リオデジャネイロ州ヘゼンジ市に物流センターを開



山九ロジスティクスブラジル ヘゼンジ物流センター

しました。主要港であるリオデジャネイロ港へのアクセスに優れた立地で、同地区では日系企業では初の物流センターです。

拠点

中国での物流ネットワーク
拡大の取り組み
●アジアネットワークの強化

当社は、中国エリアで新たに蘇州物流センターを開設し、さらに新規受注の増加に伴い天津西青倉庫と広州華南物流センターを増床しました。また山九東源国際(香港)は、お客様のニーズに対応するため香港海上ターミナルの近隣に本社を移転し、事務所内に新しく泉基パーツセンターを開設。さらに、江蘇省常州市に支店を開設しました。お客様に貢献するため、今後も、当社グループの強みであるアジアネットワークの強化を推進していきます。

10月

11月

12月

技術

「モーダルシフト取り組み優良事業者」に3年連続認定

●環境問題を意識した取り組み

当社のモーダルシフトに対する取り組みが評価され、第11回「モーダルシフト取り組み優良事業者」において、3年連続で優良事業者の認定を受けました。今後も当社グループは、モーダルシフトをはじめとした、地球環境に優しい様々な取り組みを積極的に行っていきます。

※モーダルシフト：トラックによる幹線貨物輸送を、大量輸送が可能な海運または鉄道に転換すること



蘇州物流センター



天津西青倉庫

技術
開発

メンテナンス・テクノショー2013に出展

●グローバルソリューション企業を目指して

2013年10月30日～11月1日、東京ビックサイトで開催された「メンテナンス・テクノショー2013」に出展しました。今回の出展では「グローバルソリューション企業を目指して」をテーマに、グローバルに手がけるメンテナンス事業の概要や最新開発商品や、日本工業検査など当社関係会社について紹介しました。



「グローバルソリューション企業を目指して」をテーマに、グローバルに手がけるメンテナンス事業の概要や最新開発商品や、日本工業検査など当社関係会社について紹介しました。

技術
技能

第2回 山九グローバル溶接競技大会を開催

●国内外の技術・技能の向上を図る

グループ全体の交流を進め、溶接施工体制・現場力の強化による高品質のサービス提供と若手の育成・技能向上を目指して「第2回山九グローバル溶接競技大会」を開催しました。

海外代表7カ国11名を含む選手31名が、それぞれの技術・技能を競い、参加いただいたお客様・大使館関係者・マスコミ各社の方々に事業の基幹技術である「溶接」の高い品質をアピールすることが出来ました。



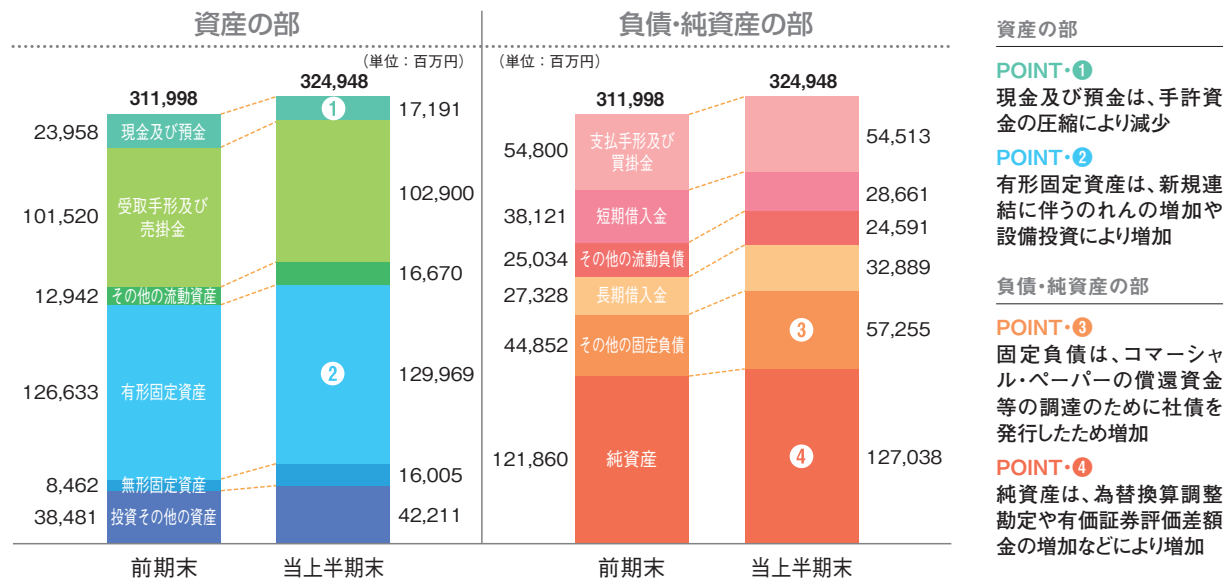
開会式



競技風景

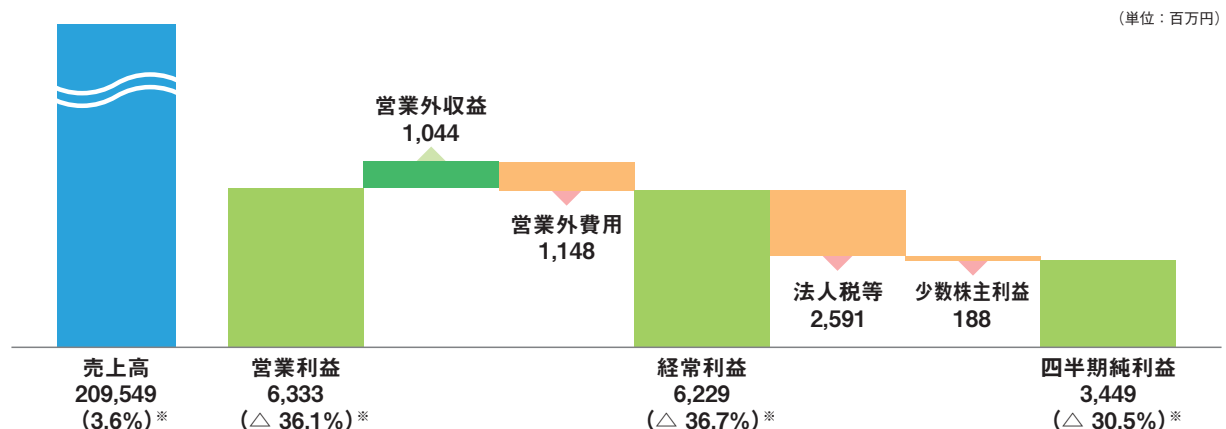
財政の状況

前期末：2013年3月31日
当上半期末：2013年9月30日



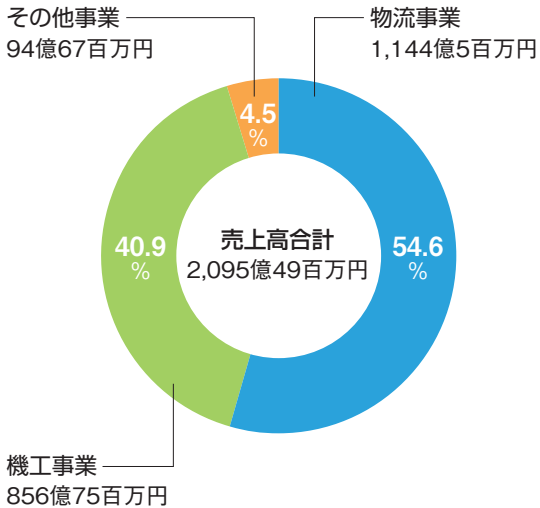
損益の状況

当上半期：2013年4月1日～2013年9月30日
※()内は前年同期比



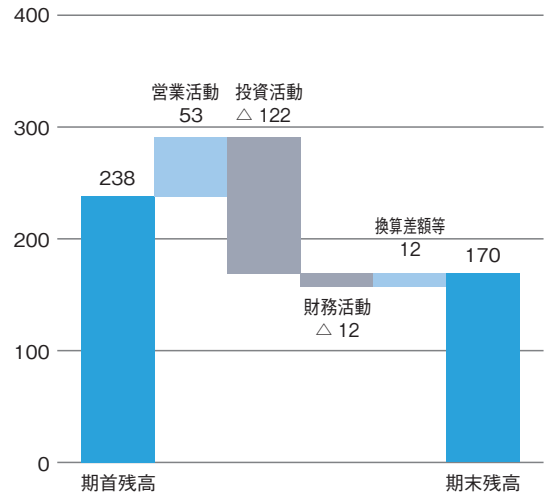
セグメント別売上高比率

当上半期：2013年4月1日～2013年9月30日



キャッシュ・フローの状況

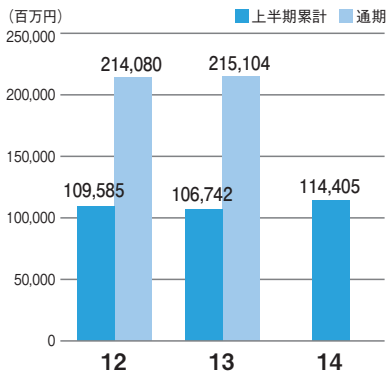
当上半期：2013年4月1日～2013年9月30日 (単位：億円)



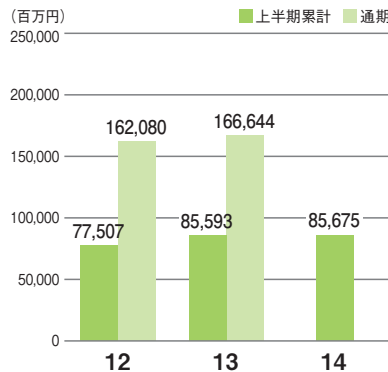
(注)金額については、一億円未満の端数を切り捨てて表示しております。

セグメント別売上高

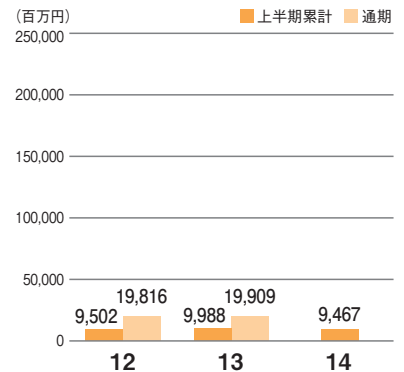
物流事業



機工事業



その他事業



(注)金額については、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

コーポレートデータ (2013年9月30日現在)

会社名	山九株式会社
住所	〒104-0054 東京都中央区勝どき六丁目5番23号
資本金	28,619百万円
事業所	国内支店 39、海外駐在員事務所 1
関係会社	国内51、海外現地法人38
従業員数	10,357名
お問合せ先	総務・CSR部 Tel.(03)3536-3939
IRホームページ	http://www.sankyu.co.jp/ir/

● IR関連のより詳しい情報については当社IRサイトをご覧ください。

株式データ (2013年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,000,000,000株
発行済株式総数	326,078,030株
株主数	18,534名
大株主	

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	20,331	6.23
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	20,137	6.17
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	19,385	5.94
新日鐵住金株式会社	10,633	3.26
財団法人ニキキ育英会	9,800	3.00
株式会社みずほ銀行	8,310	2.54
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	7,234	2.21
ジュニパー	7,045	2.16
山九従業員持株会	6,760	2.07
明治安田生命保険相互会社	6,000	1.84
合計	115,636	35.46

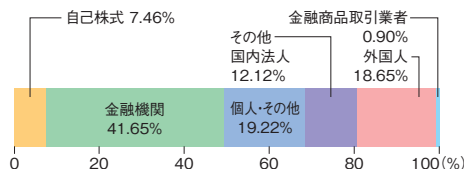
株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-7111 (通話料無料)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.sankyu.co.jp/koukoku/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

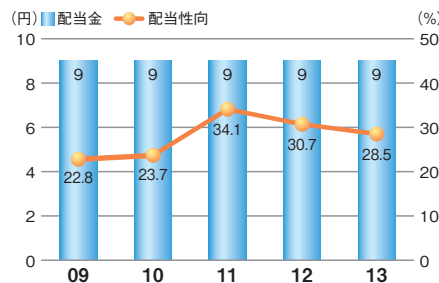
(ご注意)

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

所有株式数別構成比率



1株当たり配当金 / 配当性向



 **山九株式会社**

証券コード：9065

<http://www.sankyu.co.jp>